

生徒会通信 第2号

軟式野球部 定通総体優勝！全国かけ東海地区大会へ！！

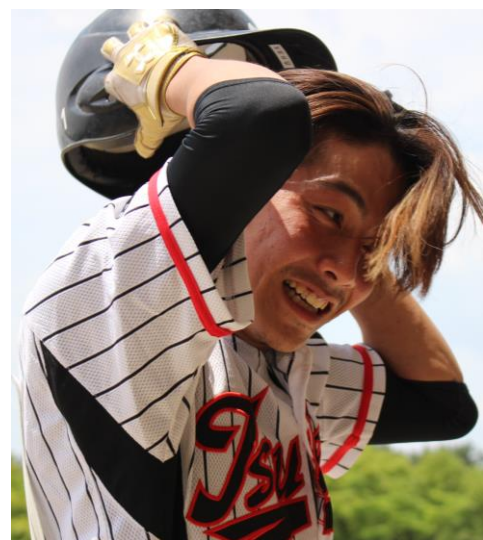
5月29日（土）稲永公園野球場

決勝

学校名	1	2	3	4	5	6	7	計
城北つばさ(夜)	1	0	3	2	0	5	2	13
城北つばさ(昼)	0	0	0	0	0	1	1	2

第72回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会軟式野球競技の決勝戦が5月29日（土）に稲永公園野球場で行われ、本校夜間部は初出場で決勝進出を果たした本校昼間部と対戦した。

初回、先頭の吉井涼太が死球で出塁し、2つの盗塁で無死3塁とする



ると、2番小松雷悟が右前適時打を打ち、あっさり先制する。3回にも1死から吉井が敵失で出塁すると、続く小松のバントを相手投手が送球ミスする間に吉井が生還し、1点を追加する。さらに1死3塁から3番米山の内野ゴロの間に1点を加えると、4番加藤駿弥が中越2塁打を打ち、チャンスを広げる。その後、相手のミスでさらに1点が入り、リードを広げる。攻撃の手を緩めない打線は4回、先頭の杉本竜

輝が内野安打で出塁し、続く大西律輝がきっちり犠打を決めてチャンスメイクすると、2死から吉井、小松に2者連続となる2塁打が飛び出し、6点差とする。

この日の先発は、今シーズン公式戦初登板の加藤。立ち上がりからやや制球に苦しみ、四球で走者を背負う展開となるが、切れ味抜群のカーブを中心に緩急をつけたピッチングで相手打線を翻弄し、4回ま



でをわずか1安打無失点に抑え、先発としての役目をしっかりと果たす。5回からはエース吉井が登板し、こちらも加藤と同様に制球に苦しみながらも、持ち味の速球を武器に要所を抑え、3回を2失点にまとめる。

4回までに6点を奪った打線は6回、1死1塁から吉井が左越2塁打を打ち、続く小松が四球を選んで満塁とする。続く3番米山が押し出しとなる四球を選び、1点を追加すると、その後も4番加藤の左越2塁適時打、5番小宮優人の右前適時打、6番山田駿介の右前適時打と三者連続となる適

時打などでこの回、一挙5点をあげ、試合を決める。7回にも4番加藤の適時3塁打などで3点を加えた打線は、合計9安打13得点と相手を圧倒し、終わってみれば13-2の快勝で愛知県大会を制し、東海地区大会進出を決めた。

次回、全国大会出場をかけて、東海4県の代表校で戦う東海地区大会に挑む。（文責：鈴木貴之）

次回予告 東海地区大会 6月12日（土）知多運動公園野球場

- ① 9：30 城北つばさ高校【夜】（愛知県） v s 大橋学園高校（三重県）
- ② 12：30 華陽フロンティア高校【定・通】（岐阜県） v s 静岡中央高校（静岡県）
- ③ 15：00 ①の勝者 v s ②の勝者

